

## 刊行にあたって

日野市立日野図書館では、平成 18(2006)年 6 月、地域の皆さまに役立つ図書館をめざし、地元の皆さまや商店会ならびに日野の歴史と民俗の会の皆さまとともに、「日野宿発見隊」というゆるやかな組織体を立ち上げました。そのなかで話し合いを重ね、同年夏の「日野宿こども発見隊」を皮切りに、歴史、文化、自然などさまざまな角度から、日野宿を再発見する事業に取り組んできました。

そして平成 31(2019)年、「令和」と改元されて間もない 5 月 11 日、「スタンプラリー in 日野宿 2019」を開催し 628 名の参加をいただきました。7 月には日野一中生徒との日野用水清掃と「夏休み！親子で調べよう日野用水」、8 月には日野駅が翌年開業 130 年を迎えるに向けて、地域の古老を招いての「日野駅 130 年よもやま話の集い」、9 月には恒例の「八坂の祭り写真展」を開催しました。

年が改まり令和 2(2020)年 1 月から「まちかど写真館 in ひの 一祝・日野駅開業 130 年一」を開催して間もなく、世界を混乱のなかに陥れることになった新型コロナウイルス感染症が拡大、私たちの活動にも大きな影を落とすことになりました。そのため、5 月のスタンプラリーは中止となりましたが、そんな中でも「日野駅開業 130 年記念絵葉書」を作成し頒布、9 月には八坂の祭りの宮神輿渡御が中止になるも、恒例の写真展を実施し多くの人々の心を和ませました。続いて 11 月には市内在住の地図研究家今尾恵介氏を講師に招き「日野駅開業 130 年記念 WEB 講演会（収録用）」を開催し、その記録映像を YouTube にて公開しました。

令和 3(2021)年 3 月、順延となっていた「まち歩き会 線路沿いを歩く 一微に入り細に入り」を漸く開催することができました。続いて 4 月 29 日から 5 月 9 日までコロナ感染症対策を講じた「デジタルスタンプラリー in 日野宿 2021」を開催、598 名の参加をいただきました。また、7 月には懸案だったホームページ（まちかど写真館データベースを含む）を喜多耕一郎氏の協力を得てリニューアルしました。さらに夏休みには「夏休み！親子で調べよう日野用水」を実施し、コロナ禍で行動が制限されがちな子どもたちにひととき楽しんでもらいました。続いて 9 月には「八坂の祭り写真展」、12 月には第 18 回子ども日野宿発見隊として「行灯を作ろう」を開催、作製した行灯が普門寺の境内でほのかに照らし出され素敵な夕暮れとなりました。

また、番外編として令和 4(2022)年 3 月、内部研修会として「立川飛行場開設 100 周年記念 まち歩き会『空の都・たちかわ巡り一立川飛行場東側』」を開催しました。おりしも 2 月 24 日に、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり今もなお戦闘は継続し世界を震撼させています。平和の尊さを再認識するとともに一刻も早くウクライナに平和が戻ることを祈るばかりです。

なお、この間、日野宿発見隊の活動に並々ならぬご支援をいただいた松本保さん、加地勝

さん、佐藤喜通さん、そして安西清さんにご他界されたことは大変つらいニュースでした。  
この場をお借りして御礼申し上げるとともに心より哀悼の意を表します。

追記：日野宿発見隊のホームページ (<https://www.hinoshuku.com>) や Twitter (<https://twitter.com/hinoshuku/>) に、これまでの私たちの活動や現在の活動の様子について、また、これまでに収集した日野宿の写真やWEB版絵本『ひのっ子日野宿発見』を掲載しておりますので、あわせてご覧いただければ幸いです。

令和5(2023)年9月

日野宿発見隊事務局

日野市立日野図書館